

教科名	国語	週時数	4 時間	学年	1 年生
使用教科書及び副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書：現代の国語 1（三省堂） ・漢字ノート（新学社） ・よくわかる国語の学習(明治図書) ・すらすら基本文法(浜島書店) ・読み方レスキュー(正進社) 				

国語の学習で 目指すこと	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・既習漢字に加えて、新出漢字を正しく読んだり書いたりして、意味を理解することができる。 ・言葉遣いや語句、文法などの表現を理解し、語彙を豊かにすることができる。 ・目的に応じて楷書や行書を書いたり、それに調和した仮名を書いたりすることができる。 ・古典の仮名遣いや漢文の読み方を理解することができる。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・既習漢字に加えて、新出漢字を読んだり書いたりして、文章の中で適切に使うことができる。 ・文学的な文章や古典を朗読し、登場人物や作者の思いを想像することができる。 ・説明的文章の構成を理解し、筆者の主張を捉えることができる。 ・立場や考えの違いをふまえて話したり、考えを比べながら聞いたり、相手を尊重して話し合ったりすることができる。 ・構成を工夫して、分かりやすく表現することができる。 ・文章の内容や表現に注意して、読むことができる。
	主体的に 学習に取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や場面、意図に応じて積極的に話す、聞く、書く、読む活動に取り組み、考えをまとめたり広げようとするすることができる。 ・読書を生活に役立てようとするすることができる。 ・広い範囲から情報を集め、効果的に活用することができる。
学習の 進め方	授業 について	<ul style="list-style-type: none"> ・指名されていなくても自分から考えよう心がけ、話す・聞く・書く・読む活動に積極的に取り組もう。 ・授業中の発表では、伝え合うことを意識して、工夫して話し合おう。 ・単元ごとにワークでポイントを押さえ、読解の充実を図ろう。 ・文法の学習内容はワークやプリントを活用し、書き込みをしたり、繰り返し復習をしたりしよう。 ・授業中は考えながら書き、必要に応じて自発的に書き込んだり、色ペンを使ったりするなどの工夫をして、復習に活用できるようにしよう。 ・週に一度の漢字プリントを提出し、基礎学力を定着させよう。
	家庭 学習	<ul style="list-style-type: none"> ・宿題（漢字プリント・意味調べ・本読み・作文など）は必ずしよう。 ・単元が終わるごとにワークの問題に取り組もう。 ・テストの前には、自分でテストをするなど、工夫して復習しよう。 ・新聞や本などを読んで、読書に親しみ、生活に役立てよう。
	定期 テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読み書きや語句の意味、さらに文法や表現、文学史の知識など、覚えたことを確認しよう。 ・ワーク（漢字、文法など）やプリントを繰り返し解こう。 ・ノートやプリントで、授業の重要なポイントを確認して覚えよう。 ・プリントや授業での記述（書く）問題は、もう一度自分でやってみて、すらすら書けるようにしておこう。
学習上の 注意	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークやプリントは、自分の力で取り組み、きちんと答え合わせをしよう。また、プリントをなくすと復習できなくなるので、大切にしておこう。 ・文法は積み重ねの学習なので、苦手なところはもう一度ふり返って復習しよう。 	

国語科 1年生 年間学習

単元	学習内容	月	評価		
			評価の観点	評価の場面・方法	
朝のリレー	詩歌	4	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見を区別して、話すことや聞くこと、書くことができる。 ・さまざまな文章に応じた読み取りができる。 ・言葉の特徴やきまりを理解することができる。 ・さまざまな古典について知る。 ・さまざまな表現技法を理解し、使うことができる。 ・整った楷書を書くことと、行書の基礎を理解して、書くことができる。 ・漢字の読み書きができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子 ・聞き取りテスト ・作文 ・定期テスト ・ノート ・漢字テスト
竜	文学的文章				
音声のしくみとはたらき	言語	5			
ペンギンの防寒着	説明的文章				
クジラの飲み水	説明的文章				
活字と手書き文字・画数・筆順	言語・漢字	6			
話し言葉と書き言葉	言語				
言葉の単位・文節の関係	文法	7			
空中ブランコ乗りのキキ	文学的文章				
硬筆書写	書写				
字のない葉書	文学的文章	9	思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や場面に応じて話し合いをすることができる。 ・目的や意図に応じて、相手に伝わる文章を書くことができる。 ・要旨を捉えたり、必要な情報を読み取ることができる。 ・場面や内容に応じて、相手に伝わるように音読をすることができる。 ・相手の反応を踏まえ、分かりやすく伝わるように話したり、考えながら聞き取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子 ・聞き取りテスト ・作文 ・定期テスト ・ノート
部首と成り立ち	漢字				
随筆	書く				
玄関扉	説明的文章	10			
接続する語句・指示する語句	言語				
月を思う心	解説	11			
古典の仮名遣い	古典				
竹取物語	古典				
訓読の仕方	古典				
故事成語 矛盾	古典	12			
毛筆書写	書写				
防災に関するデータ 「みんなているから大丈夫」の怖さ	情報 情報	1			
単語の類別・品詞	文法				
それだけでいい	詩歌				
比喩・倒置・反復・対句・体言止め	言語				
トロッコ	文学的文章	2			
意味と意図	説明的文章				
方言と共通語	言語	3			
少年の日の思い出	文学的文章				

教科名	社会	週時数	3	時間	学年	1 年生
使用教科書及び副教材	社会科中学生の地理(帝国書院) 新しい社会 歴史(東京書籍) 地理の学習 1 (地理) 歴史の学習 1 (歴史) 地理の資料 (地理) 未来へつなぐ歴史資料集 (歴史)					

社会の学習で 目指すこと	知識・技能	社会的事象の意義や特色、相互の関連を理解し、知識を身につける。獲得した知識を使ってレポートなどを作成する
	思考力 判断力 表現力	社会的事象から課題を見出し、社会的事象の意義や特色、相互の関連を多面的・多角的に考察し、社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。
	主体的に 学習に取り組む 態度	自らの学習状況を把握し、知識の取得や思考を深めるにはどうすればよいかについて主体的に取り組む。定期テスト等では結果だけにとらわれるのではなく、自分の得意不得意を冷静に見極めて自分自身で調整しながら学習を進めていく。
学習の 進め方	授業について	<ul style="list-style-type: none"> 教科書・ワーク・ノートを中心に学習を進めます。 視聴覚教材として、写真や動画を活用していきます。 知識が定着するように、小テストを行うこともあります。 授業では、板書を写すだけでなく図やメモなどを書き込み、わかりやすいノートまとめをしましょう。 提出物は締切を守りましょう。また、きちんとできているか確認して提出しましょう。締め切り後の提出・再提出は受け付けません。
		<ul style="list-style-type: none"> 一人一台端末を活用しながら、授業を行います。 小テストや授業に関するアンケートなどでPCを使用することがあります。 ICT機器やグループでの話し合いなどを通して知識理解を深めたり、表現力を高めていきます。 調べ学習やレポート作成に取り組みます。
	家庭学習	<ul style="list-style-type: none"> 宿題が出されたら家でしっかり取り組みましょう。 端末を持ち帰り、Googleクラスルームを活用して課題を出すこともあります。 テレビや新聞などで学習内容に関連する情報をつかんでおくことも大切です。 社会の動きに関心を持つと理解が深まります 自主学習ノートを活用した学習を行いましょう。 授業で疑問に思ったことや興味を惹かれたものについて自主的に調べてみましょう。
	定期テスト	<ul style="list-style-type: none"> 授業で学習したことを中心に、教科書や地図帳、ワーク、資料集などから出題します。 単に暗記するだけでなく、知識の活用ができるように問題集などに取り組みましょう。 テストの点数だけにとらわれず、間違えたり迷ったりした問題をよく確認し、テストを自分の苦手や得意を知る材料にしましょう。
学習上の 注意	社会は暗記科目ととらえられがちですが、近年は知識量だけでなく、提示された資料をもとにデータを読み取ったり、わかることを記述したりするなど総合的に問われる問題が高校入試等でも多く出題されます。ふだんから『この資料から何がわかるのだろうか』『どうしてこのような結論になるのか』など知識の活用を意識して授業に取り組むようにしましょう。また、自宅でも時事問題について自分なりに考えたりおうちの人と話し合ったりして、内容を深めておくことも大切です。	

社会科 1年生 年間学習計画

単元	学習内容	月	評価					
			評価の観点	評価の場面・方法				
第1部 世界と日本の地域構成 第2部 世界の様々な地域	第1章 世界の姿	4	知識・技能	世界の諸地域や日本の国土について地域の諸事情や地域的特色を理解している	定期テスト等において、事実に知識を問う問題や概念的な理解を問う問題などで評価する			
	第2章 日本の姿							
	第1章 人々の生活と環境	5				調査や諸資料から地理に関する多くの情報を調べて他者にわかるようにまとめている	文章などでの説明や学んだ知識を活かす場面を設けてそのことについて評価する。	
	第1節 アジア州	6				日本の歴史について世界史を背景にそれぞれの時代の特色を踏まえて理解している。		
第2節 ヨーロッパ州								
第3節 アフリカ州	7	調査や諸資料から歴史に関する多くの情報を調べて他者にわかるようにまとめている	第4節 北アメリカ州					
第4節 北アメリカ州								
第2部 世界の様々な地域	第5節 南アメリカ州	9	主体的に学習に取り組む態度	日本や世界の地域に関わる諸事象についてよりよい社会の実現にむけての視野を持って主体的に追究、解決しようとしている。	定期テスト等において、論述問題や、授業等でのレポート作成や発表、クラスやグループでの話し合いなどの活動を通して評価をする			
	第6節 オセアニア州							
第3部 日本のさまざまな地域	第1章 身近な地域の調査	10				主体的に学習に取り組む態度	歴史に関わる諸事象について、主体的に歴史から学びよりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている	ノートやレポートによる記述や授業における行動観察、生徒による自己評価を考慮して評価する。生徒の自己評価をもとに自らが自分の課題に気づき修正してできるようになるまで取り組んでいるかについても評価を行う。
	第1章 地域の在り方							
第1章 歴史へのとびら	1節 歴史をとらえる見方・考え方	11	主体的に学習に取り組む態度	歴史に関わる事象の意味や意義などについて歴史的観点から多目的・多角的に考察したり、歴史的課題の把握したり公正に選択してその結果を他者に説明したり議論したりすることができる				
	2節 身近な地域の歴史	12						
第2章 古代までの日本 第3章 中世の日本	1節 世界の古代文明と宗教のおこり	1				思考力・判断力・表現力	地理に関わる事象の意味や意義などについて地理的観点から多目的・多角的に考察したり、地理的課題の解決に向けての公正に判断したりその結果を他者に説明したり議論したりすることができる	定期テスト等において、論述問題や、授業等でのレポート作成や発表、クラスやグループでの話し合いなどの活動を通して評価をする
	2節 日本列島の誕生と大陸との交流							
	3節 古代国家の歩みと東アジア世界							
1節 武士の政権の成立	2	歴史に関わる事象の意味や意義などについて歴史的観点から多目的・多角的に考察したり、歴史的課題の把握したり公正に選択してその結果を他者に説明したり議論したりすることができる						
2節 ユーラシアの動きと武士の政治の展開	3							

教科名	数学	週時数	4 時間	学年	1 年生
使用教科書及び副教材	「未来へひろがる 数学 1」(啓林館) 「数学の問題ノート」(新学社)				
数学の学習で 目指すこと	知識・技能	数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。			
	思考力 判断力 表現力	事象を数理的に考察する力や図形において論理的に考察し、表現する力、データを読み取り、考察し、判断する力を養う。			
	主体的に 学習に取り組む 態度	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学を活用して粘り強く考え、数学を生活や学習に活かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。			
学習の 進め方	授業について	大切なこと	1 意欲的に授業に参加する姿勢をもつこと 2 基本的な知識を習得すること 3 正確に計算できる力をつけること 4 考え工夫してみようとする姿勢をもつこと		
		授業の受け方	1 先生や仲間を話をしっかり聞こう。 2 ノートをしっかり書こう。 3 とにかくやってみよう。 4 間違えたところは、なぜ間違えたかを考えよう。 5 積極的に発表しよう。 6 グループ活動で課題を解決しよう。		
	家庭学習	1 その日のうちにノートを見直そう。 ・授業でやった問題をもう一度やってみよう。 2 宿題とワークをやる。 ・宿題は、必ずその日のうちにやろう。 ・習ったところのワークを少しずつ進めておこう。			
	定期テスト	1 教科書やワークの問題を何度も繰り返してやろう。 ・教科書の例題をやり直そう。 ・ワークは日頃から進めておき、わからなかった部分や間違えた問題を、もう一度確認しよう。 ・ノートに書かれたポイントを確認し直そう。 2 わからないところは、先生や友達に聞いてわかるようにしよう。 3 テストでは見直しをしっかりしよう。 4 テストは保管し、間違えた問題はやり直しておこう。			
学習上の 注意	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中は集中し、関心を持って意欲的に問題に取り組もう。 ・授業のノートは、途中の計算や考え方を書いたり、大事だと思ったことを自分の言葉でまとめたり、線を引いて見易くするなど工夫をしよう。 ・答えより解法の途中経過を大切にしよう。 ・自分の考えはどんどん発表しよう。 ・わからないところは、早いうちに先生に質問しよう。 ・「わかる」→「できる」を目指して、たくさんの演習問題を解いてみよう。 ・グループ活動で課題解決を進めていこう。 ・提出物はすべて期日を守って提出しよう。 				

数学科 1年生 年間学習計画

単元	学習内容	月	評価					
			評価の観点	評価の場面・方法				
1章 正の数・負の数	1節 正の数・負の数	4	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な事柄や公式を理解している。 解き方を理解し、数学的に計算や作図の処理ができる。 事象を数学的にとらえ、式や表、グラフ、図形などで表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の取り組み 定期テスト 小テスト 発言 学び合い 			
	2節 正の数・負の数の計算	5						
	3節 正の数・負の数の利用 章末問題	6						
2章 文字の式	1節 文字を使った式	7				思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> 文章問題を読み取り、気付いたことや自分の見方や考え方を表現できる。 身の周りの事象について、数学的な見方や考え方ができる。 データを読み取り、批判的に考えることによって、的確に判断することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の取り組み 定期テスト 小テスト 発言 学び合い
	2節 文字式の計算 章末問題							
3章 方程式	1節 方程式	9						
	2節 方程式の利用 章末問題	10						
4章 変化と対応	1節 関数	11	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 数学的活動の楽しさや数学のよさを感じ、意欲的に取り組む。 数学を活用して、生活や学習に活かそうとする。 自分自身の取り組みを振り返るとともに、さまざまな考えを知ろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の取り組み 定期テスト 小テスト 学び合い 提出物の内容 			
	2節 比例							
	3節 反比例							
	4節 比例, 反比例の利用 章末問題							
5章 平面図形	1節 直線と図形	12						
	2節 移動と作図							
	3節 円とおうぎ形 章末問題							
6章 空間図形	1節 立体と空間図形	1						
	2節 立体の体積と表面積 章末問題	2						
	7章 データの活用	1節 ヒストグラムと相対度数	3					
2節 データにもとづく確率 章末問題								

教科名	理科	週時数	3 時間	学年	1 年生
使用教科書及び副教材	教科書「未来へひろがるサイエンス1」(啓林館) よくわかる理科の学習1年(明治図書) 観点別評価Wプリント理科1年(新学社)				

理科の学習で 目指すこと	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で学習した内容や、実験・観察の結果等から自然に関する事物・現象についての概念や原理・法則を理解し、知識として身につける。 ・実験・観察において、正確にそして安全に充分注意し、実験の基本的な操作ができる。また、実験から得られた結果を表やグラフ、図などを用いて表現することができる。 	
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・問題を見だし、目的・見通しをもって実験・観察などを行い、その結果について規則性、関係性、共通点や相違点、分類する観点や基準を見つけ出し、自分の言葉でレポートにまとめるなど、科学的に考えることができる。 	
	主体的に 学習に取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然の事物や身の回りの現象について、興味や関心を持ち、進んで授業・実験に参加することができる。 ・意欲をもって積極的に実験・観察を行ったり、授業では人の話をしっかりと聞き、発表したり、話し合いをするなど、科学的に探求しようとするすることができる。 	
学習の 進め方	授業について	授業	<ul style="list-style-type: none"> ・考え・話し合うとき、聞くとき、書くときのけじめをつけよう。 ・板書を書くときは、後で見直しができるように、見出しをつけたり、色を変えたり、下線を引くなど工夫して書こう。 ・話し合いなどには、積極的に挙手をして発表しよう。
		実験	<ul style="list-style-type: none"> ・実験においては、常に危険が伴うことを理解し、安全面を考え、集中して取り組もう。 ・実験には必ず目的があるので、一つ一つの操作を行う意味をしっかりと確認しよう。 ・班のメンバーと協力し、実験を行うだけでなく、準備や片付けも素早く行おう。 ・実験を行う際には、結果をよく見て、自分なりの言葉でその結果からわかることを表現できるように心がけよう。
	家庭学習	<ul style="list-style-type: none"> ・宿題はテスト前にまとめてするのではなく、その日学習した内容については、その日のうちに家で復習に取り組もう。また、間違えたところは解説をしっかりと読み、教科書、ノートやプリントなどもきちんと確認をしよう。 ・小テストの予告があったときは、必ず事前に復習を行い、小テストに臨もう。 	
	定期テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークは1度だけでなく、何度も繰り返し取り組み、苦手なところを無くせるようにしよう。 ・間違えた問題は答えを写して終わりではなく、解説もしっかりと確認し、どうしてその答えになるのかを理解しておこう。 ・疑問に思うところは、そのままにせずに質問して解決しよう。 ・終わったテストの問題や解答も保管し、次は間違えないように見直しをしておこう。 	
学習上の 注意	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間の授業を大切に、集中して取り組む。また、積極的に参加する。 ・実験の結果や考察は自分の言葉で表現できるように心がける。 ・身の回りの自然や事物・現象を不思議だなどという目で見て、学習した内容と、身の回りの自然や事物・現象との関連を考えてみる。 ・実験は常に目的意識を持って取り組む。 		

理科科 1年生 年間学習計画

単元	学習内容	月	評価			
			評価の観点	評価の場面・方法		
自然の中にあふれる生命	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの生物の観察 生物のなかま分け 	4	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な概念・原理・法則を理解している。 基礎知識が定着している。 実験・観察の操作や目的を理解している。 基本操作を習得している。 目的を把握し、実験結果をまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト 小テスト 観察・実験レポート ノート・ワークシート 実験中の様子（技能） パフォーマンステスト（技能） 	
【生命】 いろいろな生物とその共通点	<ul style="list-style-type: none"> 植物の特徴と分類 動物の特徴と分類 	5				
		6				
【物質】 身のまわりの物質	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな物質とその性質 いろいろな気体とその性質 水溶液の性質 物質のすがたとその変化 	7				
		9				思考力・判断力・表現力
10						
11						
12						
【エネルギー】 光・音・力による現象	<ul style="list-style-type: none"> 光による現象 音による現象 力による現象 					
【地球】 活きている地球	<ul style="list-style-type: none"> 身近な大地 ゆれる大地 火をふく大地 語る大地 	1	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 興味関心を持ち、進んで学習に参加している。 まじめな態度で集中して取り組むことができる。 発表を進んですることができる。 忘れ物がなく、提出物をきちんと出すことができる。 学習した内容を、身の回りの自然や事物・事象と関連させて考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 提出物 発表 授業中の様子 振り返り 観察・実験レポート 自由研究 	
		2				
		3				

教科名	音楽	週時数	1.3 時間	学年	1 年生
使用教科書及び副教材	教科書 中学生の音楽 1 (教育芸術社) 中学生の器楽 (教育芸術社) 副教材 MY SONG (教育芸術社)				

音楽の学習で 目指すこと	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解する。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な基礎的な技能を身につけることができる。 	
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することができる。 ・音楽を主体的に鑑賞し、自分なりに評価しながらそのよさや美しさを味わうことができる。 	
	主体的に 学習に取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験している。 ・音楽文化に親しみ、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養っている。 	
学習の 進め方	授業について	心 構え	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽や話をしっかりと「聴く」ことを心がけましょう。 ・どの分野にも意欲的に取り組みましょう。 ・仲間の考えを尊重しあい、お互いの音楽性を高め、全員で協力して進めましょう。
		各 分野の ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱では、曲にあった表現を工夫しながら堂々と演奏しましょう。 ・鑑賞では、時代背景や音楽の仕組みを理解しながらよさや美しさを感じ取りましょう。 ・器楽では、音を読むことや楽器を演奏することに慣れ、積極的に演奏しましょう。 ・創作では、音符や休符の長さを理解し、様々なリズムに慣れましょう。
	家庭 学習	<ul style="list-style-type: none"> ・クラシック、ポップス、伝統音楽など、様々な音楽を聴いてそれぞれの特徴を味わう。 ・普段からテレビなどで流れている曲に耳を傾け、授業で学習する曲とのつながりを見つける。 ・実技は頭の理解だけでは難しいため、時間や場所を考えて練習をする。 	
	定期 テ スト	<ul style="list-style-type: none"> ・配布されるテスト範囲表に書かれている教科書などのページやプリント類、授業中に学習したことをしっかり復習する。 ・音符、休符、音楽記号の読み方や意味を理解する。 	
学習上の 注意	<ul style="list-style-type: none"> ・授業準備物を忘れないようにしましょう。正しい服装で参加しましょう。 ・毎時間、「めあて」に対してどれくらい達成できたかをふり返り、次の授業へ生かしていきましょう。 ・話をよく聴き、授業に集中して参加しましょう。 ・失敗や間違いを恐れず、素直な心で思い切り表現しましょう。 ・歌い合わせる楽しさ、ハーモニーの美しさ、みんなで音楽を創り上げる喜びを味わいましょう。 ・鑑賞は、心を落ち着かせて聴きましょう。 		

音楽科 1年生 年間学習計画

単元	学習内容	月	評価		
			評価の観点	評価の場面・方法	
オリエンテーション 斉唱の楽しさ	授業の約束を確認する 校歌	4	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・音楽を表現するための基礎的な技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・ふり返りシート ・定期テスト ・実技テスト ・鑑賞の記録
斉唱の楽しさ	校歌	5			
日本の歌に親しむ 情景を思い浮かべながら 楽曲を聴こう	「浜辺の歌」 「春―第1楽章―」鑑賞	6			
クラスの歌声をつくろう	パート分け パート練習のスタート	7			
合唱の喜び	合唱コンクール課題曲 合唱コンクール自由曲	9	思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・音や音楽の良さや美しさを感じ取り、それらを音楽活動の中で創意工夫し生かすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・ふり返りシート ・定期テスト ・実技テスト ・鑑賞の記録
合唱の喜び ふり返り	合唱コンクール課題曲 合唱コンクール自由曲	10			
		11			
曲想と音楽の特徴との 関わりを感じ取って聴 こう	「魔王」鑑賞	12			
日本の伝統楽器に親し もう	箏曲鑑賞	1	主体的に 学習に 取り 組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽に親しみ、音楽を進んで表現することができる。 ・音楽に親しみ、音楽を鑑賞することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への参加状況 (活動の様子、忘れ物、提出物) ・ふり返りシート
リズムや楽器に親し もう	器楽・創作	2			
		3			

教科名	美術	週時数	1. 3 時間	学年	1 年生
使用教科書及び副教材	教科書 「美術1」(光村図書) 副読本 「美術資料」(秀学社)「レタリング字典」(秀学社)				

美術の学習で 目指すこと	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・形や色彩、材料、光などの性質やそれらが感情にもたらす効果などを理解する。 ・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。 ・材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表す。 ・材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表すこと。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・対象や事象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練る。 ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げる。
	主体的に 学習に取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> ・美術の創造活動の喜びを味わい楽しく感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の学習活動に取り組む。また、作品や美術文化などの鑑賞の学習活動に取り組む。
学習の 進め方	授業 について	<ul style="list-style-type: none"> ・一年生を基礎期として、作品の制作を中心にしながらも、教科書や美術資料集などで色彩や材料、スケッチの知識や技能など基礎基本を幅広く身につけられるようにします。また、ワークシートや言葉で考えを整理したり、学びあいを行い、言語活動の充実を行います。振り返りシートを使って授業への取り組みを振り返り次の制作に活かせるようにします。 ・鑑賞では、美術作品、文化遺産、生徒作品などを教科書・美術資料・動画などで鑑賞し、ワークシートを使い自分の意見や感想を述べたり文章で表現したりします。 ・豊かな表現を支えるためにユニバーサルデザインした色彩の学習をおこなうために配色カードを利用し色覚のちがいを色名で補います。
	家庭 学習	<ul style="list-style-type: none"> ・制作に必要な準備物や道具を考えて用意し、宿題を忘れずにしましょう。 ・アイデアスケッチ等をためておき、作品で表現するときに使えるようにしておきましょう。 ・芸術や美術に興味を持ち、美術館に足を運んだり、美術関連の番組などを見たりしておきましょう。
	定期 テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容を中心にワークシートや資料集の知識技能など、基礎基本についての総合問題を出题します。 ・鑑賞の学習では授業内容や背景、歴史などを総合的に出题します。まとめや復習をしておきましょう。
学習上の 注意	<ul style="list-style-type: none"> ・各自の制作や授業に必要な資料や材料を準備し、制作に励めるようにしましょう。 ・提出物は期日を守って必ず提出しましょう。 ・根気よく制作に集中し、私語は慎みましょう。 	

美術科 1年生 年間学習計画

単元	学習内容	月	評価		
			評価の観点	評価の場面・方法	
オリエンテーション	授業の取り組み方 図工と美術の関連	4	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・形や色彩、材料などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解している。 ・材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表している。 ・材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表している。 ・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習課題及び作品 ・ワークシート ・振り返りシート ・定期テスト
レタリング	レタリング基礎技法 (ゴシック体、明朝体)	5			
色彩学習	色彩の基礎知識 (色の三要素・色相環)	6			
鑑賞	風神雷神図屏風の鑑賞	6			
ポスター制作	ポスターの描き方	7			
平面構成	色彩学習を生かした構成やデザイン	9	思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容などから主題を生み出し、分かりやすさと美しさなどとの調和を考え、表現の構想を練っている。 ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 ・日本及び諸外国の美術作品のよさや美しさを感じ取り、美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイデアスケッチ ・実習課題及び作品 ・ワークシート ・振り返りシート ・定期テスト
デッサン	鉛筆でモチーフのデッサン	10			
鑑賞	版画作品の鑑賞	11			
立体制作	粘土を使った立体制作	1	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・美術の創造活動の喜びを味わい楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での様子 ・振り返りシート ・提出物
デッサン	鉛筆でモチーフのデッサン	2			
鑑賞	絵画作品から物語の想像と鑑賞	3			

※授業の制作進度などによっては 内容が変更になる場合があります。

教科名	保健体育	週時数	3 時間	学年	1 年生
使用教科書及び副教材	教科書「中学保健体育」(学研) 副教材「中学体育実技」(学研) 「保健体育学習ノート」(正進社)				

保健体育の学習で目指すこと	知識・技能	運動の基本技術・体力を身につける。 運動・体力の必要性を理解する。 運動の健康・安全の確保の仕方を考え、実行する。 健康・安全について、理解し、健康に生活する力と知識を身につける。			
	思考力 判断力 表現力	自分や仲間の課題を発見することができる。 課題解決の方法を具体的に考え、合理的に判断することができる。 課題や解決方法を「ことば」で伝えることができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	運動を通して、公正・協力・責任・共生を積極的に身につけようとしている。 *公正…正当なこと *共生…体力や技能の違いを認め合い、そして、補い合うこと 健康・安全に留意して、運動に積極的に取り組んでいる。 自分や仲間の健康についての学習に積極的に取り組んでいる。			
学習の進め方	授業について	体育分野	<ul style="list-style-type: none"> ・自他の安全(用具や服装、身なり、ルールなど)に注意して、運動を行いましょう。 ・仲間と協力し、色々な運動に親しみ、運動の楽しさや喜びを味わいましょう。 ・準備運動やトレーニングを毎日しっかり取り組みましょう。 ・自己の能力を向上することを目指しましょう。 		
		保健分野	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の健康・安全に興味を持ち、積極的に授業に参加しましょう。 ・健康の保持増進や回復についての知識を身につけていきましょう。 		
	家庭学習	<ul style="list-style-type: none"> ・規則正しい生活を送りましょう。 ・三度の食事を必ず取りましょう。特に朝食は1日のエネルギーです。 ・毎日、自ら決めた「運動」を継続していきましょう。 			
	定期テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・各運動のルールや基礎知識・用語を理解しましょう。 ・授業中に経験した運動を「ことば」で説明できるようにしましょう。 ・健康についての基礎知識・用語を理解しましょう。 ・自他の「健康」を維持することの大切さを理解し、保持増進させる方法、回復の方法を「ことば」で説明できるようにしましょう。 			
学習上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・「できる」「できない」で判断するのではなく、「やる」「やらない」の取り組みで、「やってみる」のチャレンジ精神を持とう。 ・自分の能力を精一杯発揮し、最後まで粘り強く取り組もう。 ・日頃から健康管理に努め、欠席・見学をしないようにしましょう。 ・指示をよく聞いて仲間と協力して、安全に活動しよう。 ・効果的で安全な活動を行うために、基本的な事柄(服装や身なりを整えたり、運動種目の規則を守るなど)に注意し取り組もう。 				

体育科 1年生 年間学習計画

単元	学習内容	月	評価						
			評価の観点	評価の場面・方法					
ガイダンス	授業の受け方・評価	4 5 6 7	知識・技能	<p>【体育分野】</p> <p>○知識</p> <p>・運動の技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法、安全の確保の仕方について、言ったり、書き出したりしている。</p> <p>○技能</p> <p>・運動の特性に応じた基本的な技術や応用した技能ができる。</p> <p>【保健分野】</p> <p>○知識</p> <p>・授業を通して、個人生活を中心として科学的に理解したことを言ったり、書き出したりしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・学習カード ・定期テスト ・技能テスト ・記録 ・レポート 				
陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> ルール・安全 短距離 リレー 								
体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> 平田野エクササイズ ストレッチ体操 補強運動 柔軟体操・集団行動 								
新体力テスト	<ul style="list-style-type: none"> 50m・ハンドボール投げ 持久走 握力・反復横跳び 立ち幅跳び 長座体前屈・上体起こし 								
器械運動 (マット運動)	<ul style="list-style-type: none"> 前転・後転・開脚前転 開脚後転・倒立前転 								
水泳	<ul style="list-style-type: none"> 水慣れ バタ足 クロール 								
保健	健康な生活と病気の予防								
武道 (剣道)	<ul style="list-style-type: none"> ルール・安全・礼儀作法 所作・基本動作・攻防 					9 10 11 12	思考力・判断力・表現力	<p>【体育分野】</p> <p>・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えを他者に伝えている。</p> <p>【保健分野】</p> <p>・授業を通して、個人生活における健康に関する課題を発見している。</p> <p>・健康に関する課題の解決を目指して科学的に思考し判断したことを他者に伝えている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・学習カード ・定期テスト ・レポート
ダンス	<ul style="list-style-type: none"> リズムダンス・ステップ 演技構成 								
体育理論	文化としてのスポーツの意義								
保健	健康な生活と病気の予防 心身の発達と心の健康								
球技 (ソフトボール)	<ul style="list-style-type: none"> ルール・キャッチボール バッティング ゲーム 								
陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> 持久走 走法 心の鍛錬 								
保健	健康な生活と病気の予防	1 2 3	主体的に学習に取り組む態度	<p>【体育分野】 ・運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲を持ち、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。</p> <p>【保健分野】 ・自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・学習カード ・レポート ・提出物 ・忘れ物 ・欠席、見学、遅刻 				
球技 (サッカー)	<ul style="list-style-type: none"> 基本技能の向上 ゲーム 戦術・作戦計画 								
球技 (バスケ)	<ul style="list-style-type: none"> 基本技能の向上 ゲーム 戦術・作戦計画 								

教科名	技術	週時数	1 時間	学年	1 年生
使用教科書及び副教材		教育図書 技術・家庭科技術分野			

技術の学習で 目指すこと	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・材料や加工の特徴や原理・原則を理解する ・工具の安全かつ適切な使用方法を知り、加工することができる ・適切な製図方法を知り、設計図をかくことができる ・生活や社会、環境との関わりを踏まえて、技術の概念を理解できる 	
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・問題から課題を設定し、解決するための構想図をかくことができる ・材料や加工の特徴を踏まえた上で設計を具体化することができる ・製作の過程や製作物について、評価し、改善方法を考えることができる 	
	主体的に 学習に取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> ・材料や加工の特徴や原理・原則を理解しているか振り返りつつ学習を進めようとしている ・工具を安全かつ適切に利用できているか自己評価し、改善しようとしている ・課題を解決するための構想について試行錯誤している ・生活や社会、環境との関わりを踏まえて、よりよい技術について考えることができる 	
学習の 進め方	授業について	一斉学習	<ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習や技術に関する調査を行う際は、コンピュータを必ず使用します。タイピングの練習等を行い、検索することができるようにしておきましょう。 ・問題を解決するために、粘り強く考えるようにしましょう。よりよい技術を考えるためには、課題を設定し、試行錯誤することが必要です。 ・ワークシートをもとに授業を進めます。
		製作学習	<ul style="list-style-type: none"> ・問題を解決するための設計が具現化する製作学習となります。構想や設計と異なる部分が出ることもあります。改善点を考えながら製作をしましょう。 ・製作（育成、制作）したものについて、自己評価や他者評価を受け、よりよいものに改善できるようにしましょう。 ・問題を解決するための方法については、適切に公開するとともに、他者の解決方法を参考にすることは、適切に行いましょう。 ・製作（育成、制作）においては、工具や機器は安全に配慮して使用するようにしましょう。
	家庭学習	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した内容について、身の回りの技術を観察し、どのような工夫があるかを考えてください。授業における問題を解決するための思考が向上します。 	
	定期テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テストはマークシートおよび一部記述問題で行います。 ・問題を解決するために授業で考えたことを問う問題が出題されることもありますので、授業で学習した内容を振り返っておく必要があります。 	
学習上の 注意	<ul style="list-style-type: none"> ・製作学習においては、服装や髪型に注意しましょう。 ・製作学習においては、作業工程や必要な工具等を考慮し、安全に行いましょう。 ・作業後の片付けや掃除については自主的に行いましょう。 ・コンピュータの利用については、情報モラルに配慮し、適切に活用しましょう。 		

技術科 1年生 年間学習計画

単元	学習内容	月	評価		
			評価の観点	評価の場面・方法	
ガイダンス	「技術」の授業	4	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・木材、金属、プラスチックなどの材料の特徴を知る。 ・工具の安全かつ適切な使用方法を知る。 ・適切な製図方法を知る。 ・生活や社会、環境との関わりを踏まえて、技術の概念を理解できる。 ・適切な製図方法を選択し、等角図や第三角法による正投影図を正確にかくことができる。 ・適切な製図方法で設計図をかくことができる。 ・情報のデジタル化やシステム化に関する基礎的な技術の仕組みを理解する。 ・生活や社会、環境との関わりを踏まえて、技術の概念を理解できる。 	
A材料と加工の技術	既存の技術の調査	5			<ul style="list-style-type: none"> ・問題から課題を設定し、解決するための構想図をかくことができる。 ・材料や加工の特徴を踏まえて上で設計することができる。例えば、木材の木目や強度を生かした設計をすることができる。 ・工具を安全かつ適切に使用し、正確に加工ができる。
	材料の特徴と適切な加工法				
	製図・製作物の設計	6			
		7			
		10			
	製作	具体的な加工法について	11	<ul style="list-style-type: none"> ・材料や加工の特徴や原理・原則について、理解しているかを自己評価し、理解できていない部分に対して進んで学習することができる。 ・情報のデジタル化やシステム化に関する基礎的な技術について、理解しているかを自己評価し、理解できていない部分に対して進んで学習することができる。 ・問題を解決するために、設計を何度も考え直しながら試行錯誤し、問題解決のための最適解を導き出そうとしている。 ・生活や社会、環境との関わりを踏まえて、よりよい技術について考えて、技術の活かし方について提言することができる。 	
			12		
1					
	評価	2	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシート ・知識、技能に関する学習の様子（観察） ・設計に関する思考錯誤の様子（観察、ワークシート） ・技術の活かし方に関する考えや提言のワークシート ・レポート 	
		3			

教科名	家庭	週時数	1 時間	学年	1 年生
使用教科書及び副教材	教科書 New 技術・家庭 家庭分野 教育図書				

家庭の学習で 目指すこと	知識・技能	家族・家庭の機能についてふかく理解できている。 生活の自立に必要な家族・家庭、衣食などについて理解しているとともに、技能を身に付けている。	
	思考力 判断力 表現力	安心・安全な生活を送るために課題を発見し、その課題を解決する力を身に付けている。 食品や衣服などの選択について考え工夫している。	
	主体的に 学習に取り組む 態度	主体的に学習を進め、習得したことを生活に活かすことができる。 よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	
学習の 進め方	授業について	一斉 授業	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の持ち物を忘れないようにしましょう。 ・発問に対して、自分の生活の中から知っていることを考えましょう。 ・ワークシートに自分の考えを記入し、ファイルに綴じましょう。 ・「資料」や「図」を読み取りましょう。 ・実生活と結び付け、課題を見つけていきましょう。
		作業 学習	<ul style="list-style-type: none"> ・作業や実習に必要な準備物を忘れないようにしましょう。 ・作業内容を確認し、安全に作業しましょう。 ・難しい作業などは家で練習しましょう。 ・作業や実習の反省や振り返りは、課題を見つけ、課題を解決するための方法などをたくさん書きましょう。
	家庭 学習	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で学習したことを家庭で練習したり、手伝いとして実践したりしましょう。 	
	定期 テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・持ち物や提出物は忘れないようにしましょう。 ・授業に集中し、発問には積極的に挙手しましょう。 ・後で見やすいようにワークシートに記入しましょう。 ・プリント類は順番通りに綴じましょう。 ・作業や実習では、集中して取り組み安全に気を付けましょう。 	
学習上の 注意	<ul style="list-style-type: none"> ・持ち物や提出物は忘れないようにしましょう。 ・授業に集中し、発問には積極的に挙手しましょう。 ・後で見やすいようにワークシートに記入しましょう。 ・プリント類は順番通りに綴じましょう。 ・作業や実習では、集中して取り組み安全に気を付けましょう。 		

家庭科 1年生 年間学習計画

単元	学習内容	月	評価								
			評価の観点	評価の場面・方法							
家族・家庭や地域との かかわり	オリエンテーション	4	知識・ 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生に必要な栄養の特徴と健康に良い食習慣について理解している。 ・栄養素の種類と働きが分かり、一日分の献立作成ができる。 ・安全と衛生を考え、基礎的な日常食の調理ができる。 ・衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用及び衣服の適切な選択について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・実技テスト ・相互評価 						
	家族の一員として										
	家庭生活と地域の関わり										
何をどれだけ食べたら よいか	食事の役割	5				知識・ 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生に必要な栄養の特徴と健康に良い食習慣について理解している。 ・栄養素の種類と働きが分かり、一日分の献立作成ができる。 ・安全と衛生を考え、基礎的な日常食の調理ができる。 ・衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用及び衣服の適切な選択について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・実技テスト ・相互評価 			
	栄養素の種類と働き										
	1日に必要な栄養素	6									
	1日分の献立										
調理と食文化	調理の基礎を知ろう	7							思考力・ 判断力・ 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の食習慣について課題を設定し、工夫して解決しようとしている。 ・1日分の献立作成し、その献立の課題をみだし、改善する力を身に付けている。 ・衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方を考え、工夫できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・定期テスト ・ワークシート
	弁当について										
	調理の基礎を知ろう	9									
	魚の特徴										
	魚の調理										
	野菜の特徴	11									
	野菜の調理										
	地域の食文化	12									
調理実習											
私たちの衣生活	衣服の働き	1	主体的に 学習に 取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> ・安全安心に食生活を過ごすための方法を考え、実践しようとしている。 ・1食分の調理について、調理計画を考え工夫し意欲的に実践しようとしている。 ・衣服の手入れについて、課題を解決するために取り組み、生活を工夫し実践しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・ワークシート ・授業中の発言 ・振り返り 						
	自分に合った衣服	2									
	衣服の手入れ	3									

教科名	英語	週時数	4 時間	学年	1 年生
使用教科書及び副教材	NEW HORIZON English Course1 (東京書籍), EIGO NO PARTNER (正進社) 英語ワークノート (新学社), Wプリント (新学社)				

英語の学習で 目指すこと	知識・技能	<ol style="list-style-type: none"> 1. はっきりと話されれば、日常的话题について、必要な情報を聞き取ることができる。 2. 日常的话题について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができる。 3. 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。 4. 関心のある事柄や体験したことなどについて、簡単な語句や文を用いて話すことができる。 5. 関心のある事柄や体験したことなどについて、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる。
	思考力 判断力 表現力	
	主体的に 学習に取り組む 態度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深めようとしている。 2. 相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 3. 様々な工夫をしてコミュニケーションを続けようとしている。
学習の 進め方	授業 について	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワーク、ペアワーク、ALTの先生との会話、発表などに積極的に取り組み、英語をたくさん話すことに挑戦しましょう。 ・先生や友達の話す英語、CDの音声など、聞くべきところはしっかり聞いて、内容を理解する努力をしましょう。 ・教科書や単語、重要表現の音読には大きな声で取り組み、英語のリズムやイントネーションに慣れましょう。 ・単語や英文は根気強く音読しながら書く練習をしましょう。 ・ノートやプリントに、黒板の内容を丁寧に書き写しましょう。 ・メロディーで着席し、授業の準備をきちんとしましょう。 ・友達や先生の話聞く姿勢や態度にも気をつけましょう。
	家庭 学習	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の理解を深めるために、予習・復習、宿題をしっかりとしましょう。 ・授業で学習した本文や単語は、家でも音読練習をしましょう。 ・ワークやまとめのプリントをしたり、授業で使ったプリントを利用したりして、知識の定着を図りましょう。
	定期 テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で扱った基本文や重要表現を英語で書けるようにしましょう。 ・授業中にチェックした本文は書けるようにしておきましょう。 ・ワークやプリント、授業で取り組んだ問題は何回もやり直しましょう。 ・ALTの先生と一緒に勉強したプリントの英文を書けるようにしておきましょう。
学習上の 注意	<ul style="list-style-type: none"> ・分からないことがあれば先生や友達に聞いて、疑問点を解決していきましょう。 ・提出物は提出期限までにしっかりと取り組み、忘れず提出しましょう。もし忘れたときは申し出てください。 ・英語を使える場面では間違いを恐れず英語を使いましょう。「伝えたい」という気持ちを大切にしましょう。 	

英語科 1年生 年間学習計画

単元	学習内容	月	評価				
			評価の観点	評価の場面・方法			
Unit 0	Welcome to Junior High School	4	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校で習った表現を使ったり、単語を読んだり書き写したりすることができる。 ・自分がふだんよくすることや、できることを伝えることができる。 ・身近な人やものについて紹介したり、たずねたりすることができる。 ・いつ・どこなのかをたずねたり、数をたずねたりすることができる。 ・相手に指示したり、時刻や好きなものをたずねたりすることができる。 ・行った場所や、そこで楽しんだことなどについて話すことができる。 ・自分の好きなことについて、つながりのある文章を書くことができる。 ・自分と相手以外の人やものなどについて、たずねたり伝えたりすることができる。 ・自分と相手以外の人について話したり、どちらなのか、だれのものかをたずねたりすることができる。 ・今していることについて説明したり、たずねたりすることができる。 ・したいことや、する必要のあることなどについて説明したり、たずねたりすることができる。 ・好きな有名人やあこがれの人についてたずねたり、説明したりすることができる。 ・過去の出来事について説明したり、たずねたりすることができる。 ・過去の状態や気持ち、過去のある時点にしていたことについて説明することができる。 ・思い出に残った学校行事について発表することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題で提出した英文の評価及びインタビューテスト ・Mini Activity の活動で使用したワークシートやノートで理解度や取り組み状況など ・本文の音読 ・本文の内容について聞いたり読んだりしたことの筆記テスト ・やり取りのパフォーマンステスト 		
Unit 1	New School, New Friends						
Unit 2	Our New Teacher						
Unit 3 Unit 4 Unit 5 Stage Activity	Club Activities Friends in New Zealand Japanese Summer Festival "All about Me" Poster	6					
		7				思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の言語活動の取り組み状況 ・Unit Activity の活動で使用したワークシートやノートの理解度や取り組み状況 ・本文の音読 ・本文の内容について聞いたり読んだりしたことの筆記テスト ・やり取りのパフォーマンステスト
Unit 6	Speech about My Brother	9					
Unit 7	Foreign Artists in Japan	10					
Unit 8	A Surprise Party	11	主体的に学習に取り組む態度	<p>【聞くこと】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとしている。</p> <p>【読むこと】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的に英語で書かれたことを読もうとしている。</p> <p>【話すこと[やり取り]】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に英語を用いて伝え合おうとしている。</p> <p>【話すこと[発表]】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて話そうとしている。</p> <p>【書くこと】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて書こうとしている。</p>			
Unit 9 Stage Activity 2	Think Globally, Act Locally My Hero	12					
Unit 10	Winter Vacation	1					
Unit 11	This Year's Memories	2					
Stage Activity 3	My Favorite Event This Year	3					

特別の教科 道徳 年間学習計画

単元	主題名	月	道徳の学習について				
1 学 期			週時数	1	使用教科書	あすを生きる 1	
1	サッカーの漫画を描きたい	4					
2	挫折から希望へ	5	道徳の学習でめざすこと	①お互いを認め合い、大切にし、高め合おうとする態度を育てる。 ②人の思いや生き方に共感し、差別の問題をなくそうとする態度を育てる。 ③自分の言動に責任を持てるようになる。			
3	人のフリみて						言葉のもつ不思議な力
4	「愛情貯金」をはじめませんか						礼儀の心
5	違いを乗り越えて						多文化の理解を深める
6	近くにいた友						心から信頼できる友達
7	トマトとメロン	6	道徳の学習の進め方	・主に教科書、道徳ノートを使いながら授業を行います。 ・補助教材として、映像や資料を提示することもあります。 ・授業の終わりには、その1時間の「振り返り」を行います。			
8	ばあば						ともに生きる
9	ふれあい直売所						きまりを守る社会
10	あったほうがいい？						よりよい社会のために
11	疾走、自転車ライダー	7					
12	花火に込めた平和への願い						世界平和のために
13	部活の帰り						心がときめくとき
2 学 期			9	評価について	・特別の教科道徳では、定期テストは実施しません。 ・学期末の通知表には、数値による評価ではなく、記述式の評価を行います。		
14	私らしさって？	自分の意志で					
15	むかで競走	みんなをまとめる力					
16	震災を乗り越えて	郷土芸能を伝える					
17	使っても大丈夫？	自他の権利と法の遵守					
18	公平と不公平	公平とは何か	10	目指す学校像	みんなが安心して過ごせる居心地の良い学校		
19	違いを乗り越えて	多文化の理解を深める					
20	あふれる愛	生まれてきた大切な生命					
21	富士山から変えていく	つながりが生み出す力					
22	木の声を聞く	自然を愛する	11	道徳目標	自他を思いやり、仲間とのつながりを大切にできる生徒の育成		
23	バスと赤ちゃん	社会の中の思いやり					
24	家族と支え合うなかで	支え合う家族					
25	私は清掃のプロになる	心がこもった仕事					
26	奈良筆に生きる	伝統を守る	12	道徳教育の指導方針	生徒の実態に合った課題を示し、多面的・多角的に考え、議論させる。 考え、話し合ったことをもとに、自己の生き方を見つめ直す機会をつくる。		
27	ゆうへー生きていてくれてありがとうー	つながる生命					
28	旗	友達のよさ					
29	自分だけ「余り」になってしまう.....	お互いを認め合う					
3 学 期			生徒指導	学級・学校環境	家庭との連携	地域社会との連携	
30	オーロラー光のカーテンー	1	・基本的な生活習慣を確立させる。(あいさつ、時間のけじめ、身だしなみ等) ・交通指導など安全指導を重視する。 ・毅然とした態度と生徒の心情を引き出す指導を行う。	・生徒間、生徒と教師間、教師間のよりよい人間関係、信頼関係の構築に努める。 ・清掃活動等を通じて、落ち着いた学校生活を送れる環境づくりを目指す。	・学校通信、学年通信、学校ホームページ、PTA広報を通して、教育内容を発信し啓発する。 ・家庭訪問を適宜行い、保護者との連携をとる。	・健全育成協力者会議等の各機関との連携を密にし、環境美化や交通安全等、健全育成に努める。 ・キャリア教育の取り組みである職業体験学習等で地域の人材、地域の素材を活用する。	
31	裏庭のできごと						感動、畏敬の念
32	役に立つことができるかな						自主、自律、自由と責任
33	緑のじゅうたん	2					
34	「肝心」のバスガイド						真理の探究、創造
35	「肝心」のバスガイド	3					
35	いつわりのバイオリン						郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度